

大学奨学生 46人を承認

伊藤青少年育成奨学会

伊藤青少年育成奨学会
(田代久美子理事長)の理
事会が17日、多治見市内で
開かれ、2026年度大学
奨学生46人の内定が承認さ
れた。

奨学会はバローホールデ
ィングス創業者の故伊藤喜
美氏の個人資産の一部を元



選考委員による面接が行われた奨学生の2次選考
＝多治見市十九田町、バロー文化ホール

に設立。2000年度から、
大学に進学する県出身者や

県内在住者、県内大学への
進学者に年36万円の奨学金
を給付している。

26年度は前年度比16人増
の116人から応募があ
り、小論文などの1次選考
を56人が通過。多治見市十
九田町のバロー文化ホール

での2次選考では、田代理
事長と4人の選考委員によ
る面接が行われた。応募者
の出身高校は、県外11校を
含む49校。小論文の指定図
書は柴田一成著の「太陽の
脅威と人類の未来」(角川
新書)だった。

このほか大学院生が対象
の奨学制度には17人の応募
があり、うち11人が書面審
査で合格し、内定した。

(小森孝美)